



毎月14日は大津町教育の日です。教育の日は、誰でも学校に来ることができる日で、今まで多くの方が学校を訪れました。

10月の教育の日である10月14日、護川小の6年生教室で松永嘉徳さん（杉水）が、戦争の話をしました。児童たちは、まっすぐなまなざしで、戦争の悲惨さや生きていることへの感謝を話す松永さんを見つめていました。地域の人として話す松永さん。学校でそれを聞く児童たち。準備をする先生や保護者一。ここに、夢を持ち、育み、かなえるために必要な「学校と家庭、地域」の連携がありました。

時代が変わり、教育は学校だけが担うものではなくなってきました。教育は、共に育つ「共育」になり、協働で育てる「協育」になってきています。そのために、家庭と地域、学校が協力し合って教育を進めていくことが重要なのです。この3つの要素が、バランスの良い三角形——トライアングルのような状態になっていることで、子どもたちの未来は切り拓かれます。

町の小中学校が行っている取り組みは、どれも素晴らしいものでした。そして、先生たちが口にするのは、子どもたちへの思いと地域や保護者に対する感謝の言葉でした。お互いが信頼し合えば、感謝の気持ちが生まれ、連携が強固になります。

教育のトライアングルが強いのになれば、子どもたちは、夢に挑戦——トライすることができます。自分の未来を切り拓くのは、自分しかできません。しかし、その力は大津の教育で育てることができます。

素晴らしい大津の教育を子どもたちのために—
特集 教育のトライアングル 終

「夢を持ち、夢を育み、夢を叶える」
子どもたちが育つ学校になるように・・・

大津町立美咲野小学校に校名決定

大津小学校分離新設校の校名は、「美咲野小学校」に決定しました。見晴らしの良い高台にあり、素晴らしい自然環境に囲まれた美咲野の土地で、一人一人の子どもたちの個性が輝き、美しい花が咲き誇る学校になるように願い、平成25年4月に開校します。



学ぶことは
未来を切り拓く力

家庭と地域と学校が
教育の未来を切り拓く

大津町教育長
那須雪子

大津町教育基本構想には、大津町の姿や、家庭や地域、学校がやるべきことを盛り込んでいます。これは家庭・地域・学校の全てが思いを共有して、同じ目的を持ったためです。思いを共有することは、共通の目標を作ることであり、協働にもつながります。子どもたちを町が目指す姿に育てていくためには、家庭・地域・学校が連携することが、とても大切なことなのです。

学ぶことは、未来を切り拓く力です。人生の中では、夢をかなえるために試験などの関門を突破しなければならぬことがあります。そのために学びは必要です。生活の中で自分で考え、判断し、行動するためにも学びは必要です。

教育で最も大切なのは、子どもに物事に対する意欲とやる気を持たせることです。自尊心を高め、自信を持つことができれば、自分の思いや考えも発言することができるコミュニケーション能力の高い子どもが育ちます。やる気を持つ子どもに育てるためには、「あ（愛語で語る）い（一緒に考え、行動する）う（うなずきながら、聞いたり、見守ったりする）え（笑顔で接する）お（応援する（励ます））」を実践し、子どもの自尊心を高めることが重要です。

地域の歴史・文化・自然について学ぶことも大切なことです。例えば、一見ただの石に見えるようなものでも、由来や価値を知れば保存する意義に気づき、次世代へ引き継ぐための行動を起こすでしょう。それは町の文化財保護、歴史や伝統の継承にもつながります。これからは地域学習の充実を図るため、町の歴史や文化に詳しい地域の人たちにご協力をお願いしたいと考えています。地域の人にはやりがいや生きがいを感じてもらいながら、地域の教育力も向上します。今後は、そのための体制を確立したいと考えています。

私が目指すのは、学校・家庭・地域の三者が知恵を出し合い、汗をかき合う教育です。三者協働の関係が、心豊かで未来を切り拓く力を持つ子どもたちを育てることにつながるでしょう。未来を創るのは子どもたちです。今日の繁栄が50年前の人たちのおかげであるように、私たちが50年後の人たちのために、熱意と力のある子どもたちを育ててくたいけません。

どの学校のどの子にも光が当たり、輝けるような教育を目指したいと思っています。それは、美咲野小学校が開校しても同じです。家庭と地域、学校がもっと実質的に連携ができれば、大津町の教育はより良くなっていくでしょうね。